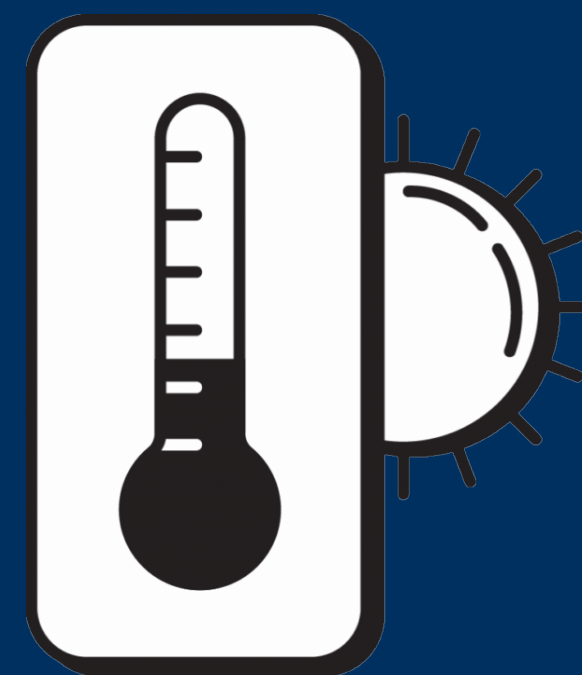


熱中症アラート 発令システム のご紹介

株式会社プラムファイブ



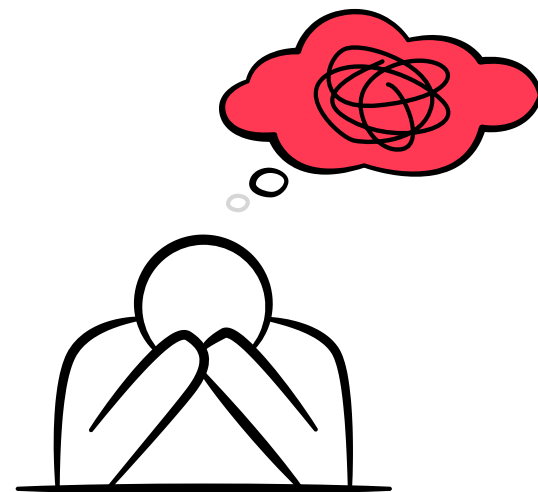
熱中症警戒アラート情報の 取得から住民配信までを 自動で可能にするご提案

概要

- 環境省のデータセンターから情報を自動取得
- 暑さ指数（WBGT）の予測値を使用
- 暑さ指数の予測値が判断基準を超えた場合に、自動でメールを配信
- 防災無線などの情報配信先に対しての自動配信が可能
※条件アリ
- LINEアプリや登録制メール、SNSなどに対しても自動で配信
※オプション

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31) ※1		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28) ※2	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

熱中症アラート発令システム導入効果



熱中症警戒
アラートの配信に
おける業務負担

住民配信までに
時間がかかる



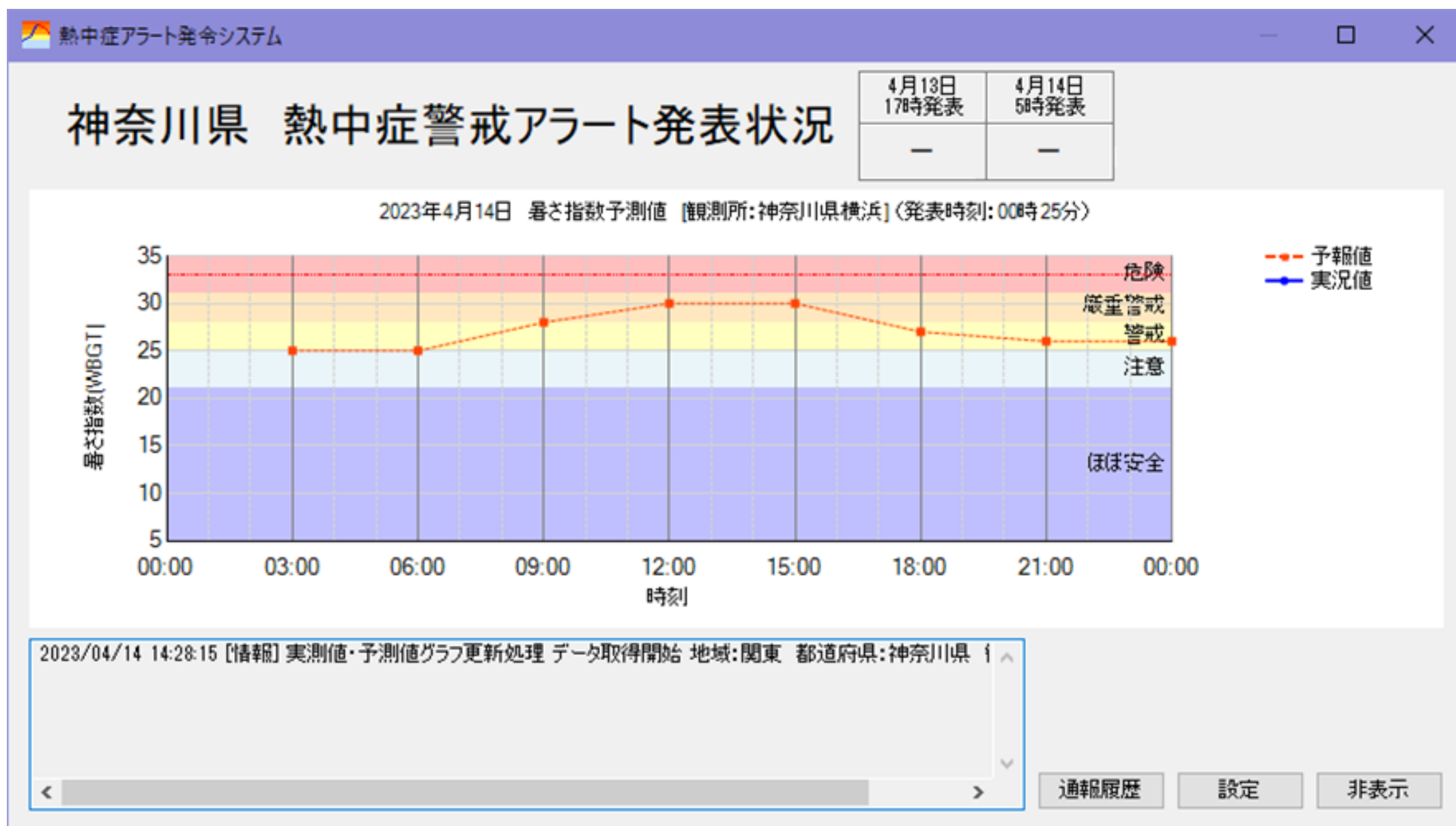
導入



環境省からの
データを自動で
取得、解析

自動でメールを
配信、防災行政
無線やSNS系への
自動配信

画面例



設定

ログ

観測所設定 発令条件 自動配信 メール設定① メール設定②

地域 関東

都道府県 神奈川県

観測所 [46106] 横浜

「都道府県」
選択された都道府県内のどこかの地点で暑さ指数(WBGT)が33を超える場合に熱中症アラートが発表されます。
※発令条件となる暑さ指数は「通報設定」で変更することが出来ます。

「観測所」
選択された観測所の当日の実測値、予測値がグラフで表示されます。

OK キャンセル